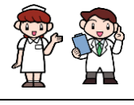
入院診療計画書

診断名：卵巣癌　治療方針：開腹附属器悪性腫瘍手術　Ver.1

ID:
氏名：　　様
病棟（病室）：　　（　　）

年　　月　　日
推定される入院期間：　9～11日間

【治療計画】

病名	日付	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日
	経過	入院日～	手術当日	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	手術後5日目	手術後6～7日目	手術後8日目
	達成目標	不安を表出することができる	疼痛を訴えることができる	疼痛を訴え、痛み止めを使用しながら、早期離床ができる 点滴や硬膜外麻酔チューブ、ドレーンが入っているため、抜けないように注意して過ごすことができる			異常なく経過し、セルフケア行動がとれる		退院後の注意事項 について理解できる	
症状	安静度 リハビリテーション計画 退院	・体力維持・回復の為リハビリテーションが介入し、リハビリテーション実施計画書を作成します。 ・病棟内を自由に歩くことが出来ます。	・手術前まで病棟を自由に歩くことができます。 ・歩いて手術室へ行きます。 ・手術後はベッドに寝たままで安静にしていて下さい。寝返りや膝立ては出来ます。	・理学療法士の指導のもとで歩いた後、病棟内を自由に歩くことが出来ます。	→ 術後2日目から退院まで1日に1.2回理学療法士の指導があります。				・退院できます。	
特別な栄養管理の必要性 有 ・ 無	栄養管理計画	・栄養状態の確認を行い、必要に応じて栄養管理計画を立案します。 ・常食がでますが、手術前日の21時以降は食べたり出来ません。	・一日中、食べたり出来ません。飲み物は（　　）時までです。（うがいは出来ます。）	・お腹の状態によって食事を開始いたします。 ソフト食（朝から水分をとれます。） →昼食：軟菜食→夕食：常食。 ※手術時間が遅くなった場合や緊急手術、腸閉塞が疑われる場合は、食事開始が遅れることがあります。	・常食が摂れます。					
その他の計画	薬剤管理計画	・薬をお持ちの方は確認しますのでお渡しください。場合により中止します。 ・禁忌事項がなければ下剤の処理を行います。	・朝より点滴を行います。 ・術中、術後に点滴を行います。 ・点滴用の針を刺したままにしておきます。 ・飲んでいた薬は中止します。 ・必要時、血栓予防の皮下注射を術後数日間行います。	・点滴を行います。 ・医師の指示によりますが、入院前から飲んでいた薬を再び飲み始めます。	・点滴を行います。 ・全ての点滴終了後、針を抜きます。 					
	検査内容及び日程	・必要に応じて採血の検査を行います。	・術中にレントゲン（腹部・臥位）の検査があります。 	・採血の検査があります。 ・必要時、術後にレントゲンの検査を1～数回行います。	・手術後4～6日目の間に術後診察があります。			・採血、尿検査があります。		
在宅復帰支援計画 ＊ 在宅復帰支援担当者名	手術処置内容及び日程	・手術する部位の毛を剃ります。	・弾性ストッキングを着用します。 ・酸素マスクをつけます。 ・心電図モニターをつけます。 ・必要時、麻酔後に中心静脈路や動脈ラインを確保します。 ・外科/泌尿器科との合同手術となることがあります。	・歩行後、弾性ストッキングを外します。 ・ドレーンの性状や量によって、ドレーンを抜去します。	→		→ ・創部のテープを取ります。必要時抜糸又は抜鉤を行います。			
	清潔 （シャワー 入浴など）	・入浴ができます。	・入浴はできません。	・看護師が蒸しタオルで体を拭きます。	・タオルで体を拭くことができます。	・状態に応じてシャワー浴ができます。 シャワー浴は医師の許可が必要になります。	・シャワー浴ができます。 			
総合的な機能評価◇	排泄	・歩いてトイレに行くことができます。	・手術室で尿を出すための管を入れます。	・尿の管が留置されている場合は、指示があるまで数日間留置します。 ・尿の管が抜けたら自由に歩いてトイレに行くことができます。		・尿の管を抜去します。 必要に応じて排尿訓練を行います。 				
	患者様及び ご家族への説明	・医師および看護師が手術に関する説明をします。 ・看護師が入院・手術に必要な物品と入院後の生活について説明します。 ・麻酔科医師による手術前の診察があります。	・医師から手術結果についての説明を手術後にお電話でします。 ・急な状態になった際はご来院をお願いすることがあるため必ず連絡がつくようにしていて下さい。 				・医師が退院について説明します。 		・薬剤師が退院後の薬の内容と管理について説明します。 ・看護師が退院後について説明します。 ・執刀医が次の外来の受診を指示するので必ず受診日を守って来院してください。	

主治医以外の担当者名	看護師：	薬剤師：	理学療法士：	管理栄養士：

看護計画		主治医	

注1）病名及び治療内容等は、現時点で考えられるものであり、検査・治療を進めていくにしたがって変わり得るものである。
注2）入院期間、表記の日時については現時点の予定である。
注3）＊印は、地域包括ケア病棟入院料（入院医療管理料）を算定する患者にあっては必ず記入すること。
注4）◇印は、総合的な機能評価を行った患者について、評価結果を記載すること。
注5）特別な栄養管理の必要性については、電子カルテ等、様式の変更が直ちにできない場合、その他欄に記載してもよい。

板橋中央総合病院
2025年12月1日作成